

## 令和4年度地域医療支援病院の管理者が行うべき責務等の実施状況について

- 管理者が行うべき責務とは、医療法施行規則第9条の19第1項第2号の規定により知事が定める事項として構想区域ごとに定めたもので、支援病院の承認を継続するための要件となる。
- 任意に求められる取組みとは、現在、任意の取組みとして報告を求めている事項に加え、構想区域ごとに追加で取組みを求めている事項。定めている区域は粕屋、朝倉、八女・筑後、飯塚、田川、北九州の6区域。各病院の取組状況は点線囲みで示す。

### <福岡・糸島区域>

#### ○管理者が行うべき責務

- ①病院の機能について広域を対象とした第三者による評価を受けていること  
(具体的事項) 第三者評価の取得
- ②災害発生時に拠点病院として中心的役割を担うこと  
(具体的事項) 災害発生時における事業継続計画 (BCP) の策定、  
JMATへの参加及び傷病者等の受入

#### ○各病院の取組状況

名称	取組状況
1. 糸島医師会病院	①日本医療機能評価機構 一般病院 1 (3rdG:Ver2.0) ②BCP 策定済 JMAT への参加なし コロナ陽性者の受入れ (137名)
2. 九州医療センター	①日本医療機能評価機構 一般病院 2 (3rdG:Ver2.0) 副機能 (精神科病院) ②福岡県の基幹災害拠点病院に指定されている。 BCP 策定済 JMAT 派遣 (宿泊療養施設へ医師を派遣) コロナ陽性者の受入れを実施
3. 九州中央病院	①日本医療機能評価機構 一般病院 2 (3rdG: ver1.1) ②BCP は策定済 JMAT 派遣 (宿泊療養施設への感染防止アドバイザー派遣: 看護師 2名) コロナ陽性者の受入れ (発熱外来受診 3,879名、のべ入院患者 2,667名)
4. こども病院	①日本医療機能評価機構 一般病院 2 (3rdG:Ver2.0) ②BCP 策定済 JMAT への参加なし コロナ陽性者の受入れ (発熱外来 3,409名、入院 437名)
5. 浜の町病院	①日本医療機能評価機構 一般病院 2 (3rdG:Ver2.0) ②BCP 策定済 JMAT 福岡へ 4 回派遣 コロナ陽性者の受入れ (延入院患者 4,484名)
6. 済生会福岡総合病院	①ISO9001 取得 ②BCP 策定済 JMAT 派遣 (宿泊療養施設へ医師を派遣) コロナ陽性者の受入れを実施
7. 福岡市民病院	①日本医療機能評価機構 一般病院 2 (3rdG: Ver2.0) ②BCP 策定済 (年 1 回見直しを実施) JMAT 派遣 (宿泊療養施設へ延べ 25 回派遣) コロナ陽性者の受入れを実施
8. 福岡赤十字病院	①日本医療機能評価機構 一般病院 2 (3rdG:Ver2.0)、高度・専門機能 (救急・災害) Ver1.0 特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構 (JCEP) ②BCP 策定済 JMAT への参加なし コロナ陽性者の受入れ (外来約 3,000人、入院約 400人)

9. 白十字病院	①日本医療機能評価機構 一般病院2 (3rdG:Ver2.0) (公社) 日本診療放射線技師会による医療被ばく低減施設 ②BCP 策定済 JMAT 派遣 (宿泊療養施設へ延べ8回派遣) コロナ陽性者の受入れ (202名)
10. 福岡記念病院	①日本医療機能評価機構 一般病院2 (3rdG:Ver2.0)、付加機能審査(救急)(Ver2.0) ②BCP 策定済 JMAT 派遣 (宿泊療養施設へ延べ91名派遣) コロナ陽性者の受入れ (656名)
11. 福岡和白病院	①日本医療機能評価機構 一般病院2 (3rdG:Ver2.0) 福岡市東区医師会東区病院部会の相互機能評価 ②BCP 策定済 JMAT 派遣 (福岡県酸素ステーションへ医師を7回派遣) 令和4年9月18日 台風14号に係る災害派遣の為にDMATチーム出動待機

### <粕屋区域>

#### ○管理者が行うべき責務

- ①情報通信技術を用いた病診連携等 (とびうめネット等)  
(具体的事項) とびうめネットへの登録
- ②病院の機能について広域を対象とした第三者による評価を受けていること  
(具体的事項) 第三者評価の取得

#### ○各病院の取組状況

名称	取組状況
12. 福岡東医療センター	①とびうめネットへの登録、活用を行っている。 連携先医療機関からの登録実績40件。 当院から患者情報の閲覧実績236件 ②日本医療機能評価機構 一般病院2

#### ○任意に求められる取組み

- ① 看護学校実習生 (特に准看護師) の受入れ及び地域の看護学校への講師派遣について積極的に関与すること  
(具体的事項) ①看護実習生の受入れ、②准看護実習生の受入れ、③看護学校への講師派遣

#### ○各病院の取組状況

名称	取組状況
12. 福岡東医療センター	看護職員養成に係る取組み記載の通り受入及び派遣を行った。 昨年度までは新型コロナウイルスの影響により少なくなっていたが、今年度においては看護学校への講師の派遣、また准看護学校を含む看護学生の実習を多く実施している。 ①地域の看護学校実習生に係る受入れ状況 ・受入看護学校名 福岡女学院看護大学、福岡看護大学、日本赤十字九州国際看護大学、福岡看護専門学校、福岡水巻看護助産学校、純真高等学校看護専攻科 ・受入人数・受入期間 285名 (令和4年4月～令和5年3月) ②地域の准看護学校実習生に係る受入れ状況 ・受入准看護学校名 福岡看護高等専修学校 ・受入人数・受入期間 86名 (令和4年4月～令和5年3月) ③地域の看護学校への講師派遣の状況 ・看護学校名 福岡女学院看護大学、日本赤十字九州国際看護大学、福岡看護高等専修学校、福岡看護大学、宗像看護専門学校 ・派遣人数・派遣期間 39名 (令和4年4月～令和5年3月)

<宗像区域>

○管理者が行うべき責務

- ①情報通信技術を用いた病診連携等（とびうめネット等）  
（具体的事項）ICTを用いた病診連携（とびうめネット等）の活用（30件以上）
- ②看護学校実習生（特に准看護師）の受入れ及び地域の看護学校への講師派遣について積極的に関与すること  
（具体的事項）看護実習生（特に准看護実習生）の受入れ：年間延べ1,000人以上 及び看護学校への講師派遣：年間延べ20人以上
- ③病院の機能について広域を対象とした第三者による評価を受けていること  
（具体的事項）第三者評価の取得
- ④新興・再興感染症に対する感染症医療の提供を中心的かつ積極的に行うこと  
（具体的事項）感染症に対応できる人材確保（医師10名、看護師等50名） 及び感染症発生時の受入病床の確保（10床）

○各病院の取組状況

名称	取組状況
13. 宗像医師会病院	①宗像医師会在宅医療連携拠点事業室のシステム「むーみんネット」の活用実績143件 ②看護実習生（1,051名）講師派遣（延べ50名） ③日本医療機能評価機構 一般病院1（3rdG:Ver2.0） ④感染症に対応できる人材（医師10名、看護師等50名）確保済 新型コロナウイルス感染症受入病床（フェーズ1～2：2床・フェーズ3：5床・フェーズ4：10床・フェーズ5：15床）確保済

<筑紫区域>

○管理者が行うべき責務

- ①病院の機能について広域を対象とした第三者による評価を受けていること  
（具体的事項）第三者評価の取得

○各病院の取組状況

名称	取組状況
14. 福大筑紫病院	①日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0）
15. 福岡徳洲会病院	①日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0）
16. 済生会二日市病院	①日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0）

<朝倉区域>

○管理者が行うべき責務

- ①看護学校実習生（特に准看護師）の受入れ及び地域の看護学校への講師派遣について積極的に関与すること  
（具体的事項）看護実習生の受入れ（年間延べ160人以上）
- ②病院の機能について広域を対象とした第三者による評価を受けていること  
（具体的事項）第三者評価の取得

○各病院の取組状況

名称	取組状況
17. 朝倉医師会病院	①看護実習生（延べ1,029名） ②日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver1.1）

○任意に求められる取組み

- ① 看護学校実習生（特に准看護師）の受入れ及び地域の看護学校への講師派遣について積極的に関与すること  
 （具体的事項） ① 准看護実習生の受入れ  
 ② 看護学校への講師派遣

○各病院の取組状況

名称	取組状況
17. 朝倉医師会病院	①准看護実習生の受入れ：無し ②看護学校への講師派遣：計7名（令和4年4月～令和5年3月）派遣

<久留米区域>

○管理者が行うべき責務

- ①病院の機能について広域を対象とした第三者による評価を受けていること  
 （具体的事項）第三者評価の取得  
 ②逆紹介を円滑に行うための退院調整部門を設置すること  
 （具体的事項）退院調整件数（年間500件以上）

○各病院の取組状況

名称	取組状況
18. 聖マリア病院	①日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver1.1） JIS Q 9001:2015（ISO 9001:2015 品質マネジメントシステム） ISO15189（臨床検査室認定） ②退院調整件数（3,780件）
19. 新古賀病院	①日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0） ②退院調整件数（739件）
20. 嶋田病院	①日本病院機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0）、副機能（緩和ケア病院、リハビリテーション病院） ②退院調整件数（1,522件）
21. 田主丸中央病院	①日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0） ②退院調整件数（1,165件）

<八女・筑後区域>

○管理者が行うべき責務

- ①看護学校実習生（特に准看護師）の受入れ及び地域の看護学校への講師派遣について積極的に関与すること  
 （具体的事項）看護実習生の受入れ（年間延べ90人以上）  
 准看護実習生の受入れ（年間延べ40人以上）  
 看護学校への講師派遣（年間のべ1人以上）  
 ②病院の機能について広域を対象とした第三者による評価を受けていること  
 （具体的事項）第三者評価の取得

○各病院の取組状況

名称	取組状況
22. 公立八女総合病院	①看護実習生（延べ129名） 准看護実習生（延べ20名） 講師派遣（准看護科32名、看護科60名） ②日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0）
23. 筑後市立病院	①看護実習生（延べ186名） 准看護実習生（延べ121名） 講師派遣（10名） ②日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver1.1）

○任意に求められる取組み

- ① 在宅医療が不足している地域への支援  
 (具体的事項) 巡回診療の取組

○各病院の取組状況

名称	取組状況
22. 公立八女総合病院	・巡回診療の取組 実施日時：毎月第1、3水曜日、13時から15時まで 診療地域：八女市黒木町大淵(剣持地区) 診療日数：22日(令和4年4月から令和5年3月まで) 延患者数：52名(令和4年4月から令和5年3月まで)
23. 筑後市立病院	地域包括ケアシステムを推進するため、在宅医療の取組みとして退院後に医療を必要とする地域の患者を主な対象とした訪問看護・訪問リハビリを実施している。現在、介護保険事業所や開業医からもご依頼をいただくようになり、訪問事業の需要は年々増加傾向であったため、訪問事業を更に強化すべく、令和4年8月より訪問診療部を立ち上げ、部門としての活動を開始した。 令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)の件数は計2,545件であった。そのうち、訪問看護は1,534件で、認定看護師による退院後のストマ管理や褥瘡の処置も実施した。訪問リハビリは1,011件で、整形外科疾患の患者が半数を占めた。

<有明区域>

○管理者が行うべき責務

- ①情報通信技術を用いた病診連携等(とびうめネット等)  
 (具体的事項) とびうめネットへの登録及び活用
- ②看護学校実習生(特に准看護師)の受入れ及び地域の看護学校への講師派遣について積極的に関与すること  
 (具体的事項) 看護実習生の受入れ、准看護実習生の受入れ及び看護学校への講師派遣
- ③病院の機能について広域を対象とした第三者による評価を受けていること。  
 (具体的事項) 第三者評価の取得
- ④新興・再興感染症に対する感染症医療の提供を積極的に行うこと  
 (具体的事項) 感染症発生時の受入病床の確保

○各病院の取組状況

名称	取組状況
24. 大牟田市立病院	①とびうめ活用実績：26件 ②看護実習生受入(111名) 准看護実習生(32名) 講師派遣(48名) ③日本医療機能評価機構 一般病院2(3rdG:Ver2.0) ④コロナ患者受入病床の確保(15床)

<飯塚区域>

○管理者が行うべき責務

- ①情報通信技術を用いた病診連携等(とびうめネット等)  
 (具体的事項) とびうめネットへの登録
- ②看護学校実習生(特に准看護師)の受入れ及び地域の看護学校への講師派遣について積極的に関与すること  
 (具体的事項) 看護実習生の受入れ(年間延べ15,000人以上)  
 准看護実習生の受入れ(年間延べ3,500人以上)
- ③病院の機能について広域を対象とした第三者による評価を受けていること  
 (具体的事項) 第三者評価の取得

○各病院の取組

名称	取組状況
25. 飯塚病院	①とびうめネットへ登録済 連携医療機関とオンプレミス型サーバー「こまめる（通称）」を使用して、 転院や在宅医療の情報提供を行っている。（実績 1,181 件） ②看護実習生（延べ 9,035 名） 准看護実習生（延べ 1,355 名） ③日本能率協会審査登録センター（IS09001）

○任意に求められる取組み

- ① 新興・再興感染症に対する感染症医療の提供を中心的かつ積極的に行うこと  
 （具体的事項） 感染症医療の提供
- ② 災害発生時に拠点病院として中心的役割を担うこと  
 （具体的事項） 災害医療の提供

○各病院の取組

名称	取組状況
25. 飯塚病院	① COVID-19 患者の受入れ体制として、重症患者を中心に ICU、H2 救急、 北 7 階病棟にて病床を確保し適宜受け入れを行った。また特殊疾患である 透析患者、妊婦について受入れ依頼時に対応を行った。小児についても 受入れられる範囲で対応した。 ②・広域災害発生時に対応できるよう DMA T チーム、D P A T チームの結 成 ・地域消防との大規模災害訓練（2022. 10. 29）の実施および、救命救急セ ンター内での災害時患者受け入れ訓練（2022. 11. 19）の実施

<田川区域>

○管理者が行うべき責務

- ①情報通信技術を用いた病診連携等（とびうめネット等）  
 （具体的事項） ICT を用いた病診連携（とびうめネット等）の活用（年間 1,000 件以上）
- ②病院の機能について広域を対象とした第三者による評価を受けていること。  
 （具体的事項） 第三者評価の取得

○各病院の取組状況

名称	取組状況
26. 社会保険田川 病院	①地域画像ネットワーク（1,378 件） とびうめネット（97 件） ②2021 年更新予定で準備を行ったものの新型コロナウイルス感染症への対 応で更新できず。今年度中の再指定を目指したが、受審予定病院が多く年 度内の調整がつかないとのことであり、2024 年 5 月に受審予定となった。

○任意に求められる取組み

- ① 在宅医療が不足している地域への支援  
 （具体的事項） 在宅医療の取組み

○各病院の取組状況

名称	取組状況
26. 社会保険田川 病院	在宅復帰のための A D L 向上（リハビリ、栄養状態の改善、口腔ケア等）、 在宅へ向けた環境調整、在宅や施設での対応が困難な医療依存度の高い 患者の受入れ、介護者の一時休養を目的としたレスパイトの受入れ等を 通じ、医療圏内の在宅医療に対する積極的な支援を行っている。

<北九州区域>

○管理者が行うべき責務

- ①看護学校実習生（特に准看護師）の受入れ及び地域の看護学校への講師派遣について積極的に関与すること  
（具体的事項）看護実習生の受入れ（年間延べ100人以上）
- ②病院の機能について広域を対象とした第三者による評価を受けていること。  
（具体的事項）第三者評価の取得

○各病院の取組状況

名称	取組状況
27. 小倉記念病院	①看護実習生（延べ112名） ②日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0）
28. 製鉄記念八幡病院	①看護実習生（236名） ②日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0）、副機能（緩和ケア病院）
29. 戸畑共立病院	①看護実習生（延べ961名） ②日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0）
30. 九州病院	①看護実習生（3,528名） ②日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0）
31. 小倉医療センター	①看護実習生（延べ1,710名） ②日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0）、副機能（精神科病院）
32. 九州労災病院	①看護実習生（289名） ②日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0）
33. 健和会大手町病院	①看護実習生（延べ333名） ②日本品質保証機構 ISO 14001、ISO 9001
34. 北九州市立医療センター	①看護実習生（延べ339名） ②日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver1.1）
35. 門司メディカルセンター	①看護実習生（194名） ②日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0）
36. おんが病院	①看護実習生（延べ110名） ②日本医療機能評価機構の評価を令和5年2月に受審し、審査結果待ち
37. 北九州市立八幡病院	①看護実習生（延べ1,212名） ②日本医療機能評価機構の評価を令和6年1月に受審予定

○任意に求められる取組み

- ①看護学校実習生（特に准看護師）の受入れ及び地域の看護学校への講師派遣について積極的に関与すること  
（具体的事項）准看護実習生の受入れ及び看護学校への講師派遣

○各病院の取組状況

名称	取組状況
27. 小倉記念病院	2022年度看護師の受け入れ実施状況について ・北九州小倉看護専門学校 合計120名 ・西南女学院大学 合計90名 ・日本赤十字九州国際看護大学 合計22名 2022年度看護学校への講師派遣について 北九州小倉看護専門学校へ講師を23名派遣した。
28. 製鉄記念八幡病院	看護学生の実習受入は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、一部制限はあったものの2校計236名の学生を受入れている。 准看護師の実習受入については、受入れ要請の実績がない。 学校への講師派遣も、3校で計16名の職員を派遣し看護学生への教育も積極的に行っている。

29. 戸畑共立病院	看護学生の実習受入れは新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けたが、4校 延べ 961 名の学生を受け入れている。 学校への講師派遣は、延べ 23 名の職員を派遣し看護学生への教育も積極的に行っている。
30. 九州病院	令和 4 年度看護学生受け入れ延べ人数：3,528 名准看護、准看護師の実習依頼はなかった。コロナ禍においても学校教員、教育担当者、ICT と検討を重ね、実習方法の工夫をすることで受け入れを行った。 看護学校からの講師派遣はなかった。
31. 小倉医療センター	地域の准看護学校実習生に係る受入れ状況 有 北九州小倉看護専門学校 ・受入人数・受入期間 225 名（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月） 地域の看護学校への講師派遣の状況 有 北九州看護大学校、遠賀中間医師会立遠賀中央看護助産学校、福岡水巻看護助産学校、下関看護リハビリテーション学校 ・派遣人数・派遣期間 19 名（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）
32. 九州労災病院	令和 4 年度：289 名（令和 4 年 5 月～令和 4 年 9 月） 受入看護学校名：京都医師会看護高等専修学校・日本赤十字九州国際看護大学・西南女学院大学・福岡県立大学・小倉南看護専門学校・製鉄記念八幡看護専門学校・北九州看護大学校
33. 健和会大手町病院	〈2022 年度 看護学生の受入れ状況〉 ・准看護実習生受入れなし ・戸畑看護専門学校：受入人数 延べ 28 名 ・小倉看護専門学校：受入人数 延べ 50 名 ・製鉄記念看護専門学校：受入人数 延べ 22 名 ・健和看護学院：受入人数 延べ 233 名 〈看護学校への講師派遣人数〉 ・戸畑看護専門学校：2 名（看護師） 2022 年 11 月～2022 年 12 月 ・健和看護学院：4 名（医師）、20 名（看護師）、7 名（臨床検査技師）、2 名（臨床工学技士）、1 名（放射線技師）、1 名（MSW） 2022 年 4 月～2023 年 3 月 ・国際医療福祉大学：1 名（医師） ・神村学園専修学校：1 名（医師）
34. 北九州市立医療センター	・北九州小倉看護専門学校（准看護学科）実習受入 243 人、講師派遣 16 回 ・西南女学院大学への講師派遣 23 回 ・北九州市立看護専門学校への講師派遣 21 回
35. 門司メディカルセンター	今年度 5 月～2 月までに実習生 194 名を受け入れているが、新型コロナの影響があったため看護学校への講師派遣は行わなかった。
36. おんが病院	・准看護実習生の受入実績なし。（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月） 当院の近郊に准看護学校がなく実習依頼がないため。 ・看護学校への講師派遣（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月） 看護学校名 遠賀中間医師会遠賀中央看護助産学校 派遣人数・派遣期間 医師 8 名、看護師 7 名 計 15 名
37. 北九州市立八幡病院	看護学校実習については、八幡医師会看護専門学校准看護師科、北九州市立看護専門学校、西南女学院大学保健福祉学部看護学科、製鉄記念八幡看護専門学校、美萩野女子高等学校看護専攻科の看護学校実習を受け入れている。 また、講師派遣については、八幡医師会看護専門学校准看護師科、北九州市立看護専門学校、美萩野女子高等学校看護専攻科に講師派遣を実施している。



○任意に求められる取組み

- ② 新興・再興感染症に対する感染症医療の提供を中心的かつ積極的に行うこと  
 (具体的事項) JMAT 等への参加

○各病院の取組状況

名称	取組状況
27. 小倉記念病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2022 年度はコロナ患者の受け入れ病床として最大 26 床を確保、実績としてコロナ入院の患者を延べ 2,845 人受け入れた。</li> <li>・ 2022 年 7 月 27 日、8 月 23 日に小倉北区内のホテルで行われた福岡県新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設への感染防止のセミナーに、アドバイザーとして当院の感染症認定看護師を 2 名派遣した。</li> <li>・ 当院の感染症医師 1 名、感染症認定看護師 1 名で連携している 2 医療機関の感染のラウンドを行った。</li> <li>・ 感染対策向上加算 2 と 3 を取得している 9 医療機関への感染対策の教育として、院内の職員への感染防止研修をテーマに、年に 4 回、当院主催のカンファレンスを行っている。</li> </ul>
28. 製鉄記念八幡病院	<p>福岡県 JMAT が実施している新型コロナウイルス宿泊療養施設への医師派遣に参加している。</p> <p>2022 年度は 4 月～3 月に 計 26 日 宿泊療養に医師を派遣した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、地域の感染症医療の一角を担っている。</p>
29. 戸畑共立病院	<p>新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設への JMAT 福岡の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 派遣回数 延べ 48 回 (令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月)</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、陽性患者専用病床 12 床を確保し、入院の受入れを行っている。</p> <p>診療検査医療機関として、発熱患者等の受入れを行っている。</p> <p>集団接種の出務に対して、医師及び看護師を派遣している。</p>
30. 九州病院	<p>新型コロナ感染症患者受入れ重点医療機関として運用</p> <p>フェーズ区分により最大 20 床の確保病床承認</p> <p>入院患者数：319 人</p> <p>外来救急対応人数：349 人</p> <p>保健所からの要請件数：631 件</p>
31. 小倉医療センター	<p>JMAT 等への参加：なし</p> <p>地域医療支援病院における新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組及び新型コロナウイルス感染症患者の受入状況について</p> <p>①帰国者・接触者外来の設置</p> <p>帰国者・接触者外来(小児)を設置し、行政からの紹介を受け入れている。</p> <p>②入院医療体制</p> <p>当初、軽症～中等症の陽性患者、疑い患者用の病床を確保(15床)していたが、重点医療機関として県に申請を行い、5類移行前までは合計で42床の受け入れ病床を確保している。</p> <p>③PCR等の検査体制</p> <p>新規入院患者を含め、感染の可能性が高い場合は、医師の判断のもとで迅速に検査できる体制を構築している。また、迅速な診断が可能な抗原検査キットを常備している。手術が必要な患者に対してPCR検査等を実施している。</p> <p>④院内環境</p> <p>患者が安心して受診・入院できるよう、個室利用や感染者と非感染者が交差しない動線確保等の感染予防対策を徹底している。</p>
32. 九州労災病院	<p>新型コロナウイルス感染症対応のための確保病床数 最大病床数：7床</p> <p>JMAT 等の派遣：派遣依頼無</p>

33. 健和会大手町病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は感染対策向上加算2として感染対策向上加算1の医療機関とカンファレンスを実施し、連携を行っている。2022年10月18日までは新型コロナ感染疑い患者受入協力医療機関としての役割を担い、同年10月19日以降は重点医療機関としてその任務を果たしている。同年12月からは、感染対策向上加算1の届出を行い地域医療機関の感染対策にも貢献する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に対しては院内の状況を踏まえ、会議やカンファレンスにICTが積極的に関わりを持ち対応を行っている。新型コロナウイルスだけではなく、新たな新興・再興感染症に対しても臨機応変にゾーニングを展開する準備も整備を進めている。</li> <li>・近隣の自立センター施設より依頼があり、施設内の感染対策状況をラウンドし、アドバイスをを行った(2施設)。</li> <li>・法人内事業所がクラスター発生した際にD-MAT隊員が積極的に介入を行った。</li> <li>・感染症科医師は医療系大学や看護学校へICT看護師は看護学校へ講師として定期的に講義を行っている。</li> </ul>
34. 北九州市立医療センター	<p>第二種感染症指定医療機関としての役割を果たしており、新型コロナウイルス感染症重点医療機関としてコロナ患者受入れを積極的に行なっている</p> <p>算定期間 令和4年4月～令和5年3月 入院 364名</p>
35. 門司メディカルセンター	<p>コロナ病床を開設し、北九州市からの要請で陽性患者の入院を受け入れた。合計122名</p> <p>4月1日～6月7日 18名 7月28日～10月25日 50名 11月28日～3月15日 54名</p>
36. おんが病院	<p>新型インフルエンザ患者入院医療機関の指定。 新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関の指定。 令和4年11月より新型コロナウイルス重点医療機関の指定。 新型コロナウイルス感染症検査・診療医療機関の指定。 陽性患者の新規入院受入実績146名。(令和4年4月～令和5年3月) PCR検査5,516件、抗原定性検査2,068件実施。1,979件陽性。陽性率26.1%。(令和4年4月～令和5年3月) 新型コロナウイルス感染症患者用の宿泊療養施設等へJMATを通じて医師の派遣を行った。</p>
37. 北九州市立八幡病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡県より「新型コロナウイルス感染症受入重点医療機関」の指定を受けており、令和4年度の第7、8波では、北九州市内でも最多となる延べ3,595名の入院患者を受け入れた。</li> <li>・新型コロナワクチン集団接種会場へ医師(延べ41名/日)を派遣した。</li> </ul> <p>【派遣回数：小児18回、成人23回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大のため、令和4年7月29日付けでフェーズ5におけるコロナ病床を20床から23床に増床した。</li> </ul>

○任意に求められる取組み

- ③ 災害発生時に拠点病院として中心的役割を担うこと  
 (具体的事項) JMAT 等への参加

○各病院の取組状況

名称	取組状況
27. 小倉記念病院	・北九州市内9施設ある災害拠点病院と連携しつつ支援体制をとって いく予定である。 特に当院の診療機能を活かせる診療科にて被災された患者さんの受 入れを行っていく。
28. 製鉄記念八幡病 院	災害拠点病院ではないものの、災害時には地元医師会や近隣の医療機関 と連携して地域医療の維持・継続を支援し、JMAT等からの出務 依頼に対しても即座に対応出来るような体制整備を進めていく。 また、医師以外の医療職の体制整備も進めており、直近では日本災害リ ハビリテーション支援協会(JRAT)の初動対応チームの養成講座を 理学療法士が受講。 その他、災害訓練を年2回実施し、福岡医療情報ネットの災害時入力 の定期訓練も参加している。
29. 戸畑共立病院	事業継続計画(BCP)を策定している。 災害拠点病院であり、地元医師会や近隣の医療機関と連携し、災害医 療の維持・継続を行うために訓練・研修等に参加している。 ・令和4年07月 日本DMAT技能維持研修参加 ・令和4年10月 大規模地震時活動訓練(政府訓練)参加 愛知県 にて ・令和4年10月 北九州救急の日イベント 西日本総合展示場 ・令和4年10月 福岡空港事故対処総合訓練 福岡空港 ・令和4年11月 北九州市医師会 DMOC情報伝達訓練 八幡病院 ・令和5年01月 令和4年度九州・沖縄ブロックDMAT実働訓練 熊 本県
30. 九州病院	令和4年9月5日台風災害に際し、災害拠点基幹病院(市立八幡病院) とともに災害拠点病院として、北九州市・救急隊・医師会・JMAT 配備体 制下に配属
31. 小倉医療センタ ー	JMAT 等への参加: なし
32. 九州労災病院	災害発生時における事業継続計画(BCP)の作成 JMAT 等の派遣: 派遣依頼無
33. 健和会大手町病 院	・日本DMAT(医師3名、看護師3名、ロジ1名)、県DMAT(医師1名、 看護師4名、ロジ4名)おり、災害時にはDMAT本部より依頼があり、 災害支援要請に応じている。また、大規模地震時医療活動訓練(9/30~ 10/2)に医師2名、看護師2名、ロジ1名参加。 ・DMOC(災害医療医療作戦司令センター)の研修への参加(11/19:1名) 。 ・北九州地域DMATブラッシュアップ研修への参加(5/28、10/15、2/4) ・当院での災害訓練実施(11/12)。それに伴いマニュアルの見直し(新 病院移転後)等を行った。
34. 北九州市立医療 センター	災害拠点病院
35. 門司メディカル センター	災害対策マニュアル・防災計画を策定し、災害時における地域の拠点病 院としての役割を果たすため、必要な医療提供体制を支援する。
36. おんが病院	遠賀・中間地域にて災害時の中心的対応を行う拠点医療機関として指定 されている。

37. 北九州市立八幡病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州市が主催する遠賀川氾濫を想定した図上訓練（令和4年5月20日実施）に、当院のDMAT隊員を派遣した。</li> <li>・台風11号（令和4年9月5日～6日）、台風14号（令和4年9月18日～19日）発生時に「北九州市医師会医療救護計画」に基づき、院内に災害医療作戦指令センター（DMOC）を設置し、市内災害拠点病院に対して、被災状況などの情報提供を行った。</li> <li>・DMOC情報伝達訓練を令和4年11月19日実施した。</li> </ul>
---------------	--

<京築区域>

○管理者が行うべき責務

- ①情報通信技術を用いた病診連携等（とびうめネット等）  
（具体的事項）とびうめネットへの登録
- ②看護学校実習生（特に准看護師）の受入れ及び地域の看護学校への講師派遣について積極的に関与すること  
（具体的事項）准看護実習生の受入（年間延べ10人以上） 及び  
看護学校への講師派遣（年間延べ1人以上）
- ③病院の機能について広域を対象とした第三者による評価を受けていること  
（具体的事項）第三者評価の取得

○病院の取組状況

名称	取組状況
38. 新行橋病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>①2件登録</li> <li>②准看護実習生受入（41名）：豊前築上医師会看護高等専修学校、京都医師会看護専門学校 講師派遣（6回）</li> <li>③日本医療機能評価機構 一般病院2（3rdG:Ver2.0）</li> </ul>